

地域紹介

今回は、阪急雲雀丘花屋敷駅をご紹介いたします。この駅は、二面四線のホームとなっていて、発車案内板が電光式ではなく、今では数少なくなっただけでなく、内板で鉄道ファンには、たまらない魅力となっているようです。



元々は、昭和三十四年頃まで「雲雀丘駅」と「花屋敷駅」の二つの駅に分かれていました。「花屋敷駅」は宝塚線開業と同時に設置された駅で、「雲雀丘駅」は後から設置された駅でした。当時は、四両編成だった宝塚線の車両を、六両編成に延長する際に、わずかに四百メートルしか離れていない両方の駅にまたがってしまうことから、どちらかの



駅を廃止する事になりました。阪急電鉄としては「雲雀丘駅」を残し、「花屋敷駅」を廃止しようと考えていたようです。しかし、花屋敷周辺に住む住民が、新駅の不便さや地価下落を理由に反対し、当時の国務大臣を巻き込んだ存続運動が行われ、「雲雀丘花屋敷

駅」に統合された後も一年間営業を続けられていたそうです。

結果、雲雀丘駅は廃止され「雲雀丘駅」と「花屋敷駅」の間に「雲雀丘花屋敷駅」が開業されました。統合されるにあたってはどちらの駅を残し、どちらの駅が吸収されるかで大論争となり、雲雀丘側・花屋敷側、双方の自治会長によるじゃんけんでの勝敗を決したという話もあるそうです。(岡)

編集後記

十二月に入り、寒さも本格的になってまいりましたが、みなさま体調など崩されていませんか。

さて、今年も残りわずかとなりましたが、みなさま今年一年はどんな一年をお過ごしになったでしょうか。中山ちどりでは、新年祝賀会やご家族懇談会、六周年記念祭、秋祭りと同様々々イベントを開催しました。ご利用者やご家族、地域の方々の支えもあり、みな

さまと楽しい一年を過ごすことができましたことに深く感謝いたします。

これからも、ご利用者やご家族、地域の方々と共に歩んでいき、みなさまが、安心して楽しく過ごせるようなサービスの提供に努めてまいります。

来年も、ご愛顧の程、宜しくお願ひ申し上げます。(米田)



ももちどり 百智鳥 第七十三号

中山ちどり
広報委員会
平成二十九年
十二月五日
発行

介護つらい

ケアホーム中山ちどり ケアマネジャー 丸山 聖平

今年も残すところあとわずかとなり、年末はさまたげが少なく、お正月は静かな年越しを過ごすことが出来た。今年も中山ちどりでは、介護の現場で働くみなさまの健康と安全を第一に、ケアマネジャーとしての役割をしっかりと果たすべく、日々努めている。また、介護現場では、高齢者の生活の質を向上させることが重要であり、ケアマネジャーは、高齢者の生活の質を向上させるために、高齢者の生活の質を向上させるために、ケアマネジャーとしての役割をしっかりと果たすべく、日々努めている。

ただ、介護現場には、介護の現場で働くみなさまの健康と安全を第一に、ケアマネジャーとしての役割をしっかりと果たすべく、日々努めている。また、介護現場では、高齢者の生活の質を向上させることが重要であり、ケアマネジャーは、高齢者の生活の質を向上させるために、ケアマネジャーとしての役割をしっかりと果たすべく、日々努めている。



焼き芋



豆知識

焼き芋は素朴な見た目とは裏腹に、中は栄養満点です。美肌に効果があるビタミンCや老化防止のビタミンE、食物繊維は便秘解消に効果的と女性にうれしい効果がたくさんあります。

また、さつまいもに含まれるアミラーゼという消化酵素がデンプンを分解し麦芽糖に変化させます。このアミラーゼが働く六十五度〜七十五度の温度を保つことで、甘く美味しい焼き芋になるそうです。

焼き方にも色々あり、さつまいもを焼いた小石の中で焼く石焼き芋は、屋台や軽トラックで売り歩く姿が印象的で今でもよく見かけます。また、土で釜戸を作り、鉄の平釜で焼く、釜焼きいもは江戸・明治期に馬小屋の番人が副業として売っていたそうです。他にも、つぼ型の釜の中にさつまいもを吊るして空気で熱して焼く、壺焼きいもがあります。

また、世界中にも焼き芋の文化があります。台湾では国内に七千店舗以上の焼き芋屋があり、日本よりも安く販売されているそうです。インドでは屋台で販売しており、注文すると皮をむき、刻んで香辛料とレモン汁をかけるそうです。

みなさま、寒くなってきたこの季節に、ぜひ一度召し召してみたいか季節に、うか。

〈参考文献 インターネット 完熟やきいもKOGUMAより〉

介護技術コンテスト

平成二十年に制した。



定された十一月十日「介護の日」にあわせて、十一月十二日(日)に、一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会主催で、「介護の日イベント」が神戸で開催されました。そして、七名の参加者が競う中、片岡リーダーが優勝致しました。審査員の方からは、「介護技術だけではなく、ご利用

用者への心遣いや言葉かけ、笑顔がとてもよかった」との評価をいただきました。

「介護技術コンテスト」に参加した片岡リーダーに感想を聞きました。「ここ十年で一番緊張した一日でした。毎日行っていた。介助を評価していただくことはこれからの自分の自信につながりま



した。私個人ではなく中山ちどりにいただいた賞だと思っております。今回の事で満足せず、これからも精進していきたいと思っております」

(佛田)

南館中庭紹介

南館一階には四季折々の花や植物が咲いている中庭があります。庭の手前半分は、

ボランティアの方が手入れを下さり、残りの奥半分は、ご入居者と一緒に新しい鉢植えを買いに行ったりしながら庭の手入れを行っていただきます。

また、中庭にはベンチも設置しており、天気の良い日には、ご入居者



が暖かい日差しの中で、心地よさそうに日向ぼっこをしている姿が見られます。南館だけでなく北館のご入居者やご家族にも、是非一度足を運んでいただければと思います。(岡村)

なぜなぜ

- Q1、クリスマススイブにける掛け声は何？
- Q2、お小遣い上がったお父さんが、クリスマススイブに食べたいと言った物は何？
- Q3、クリスマスに隠れている生き物は何？
- Q4、サンタさんがたぶん持っていないソリはどんなソリ？
- Q5、十二月二十四日に、大変な思いをする臓器は何？

臓器は何？

- 前月の答え
- 一問目 ボタン(牡丹)
 - 二問目 こしょう(故障)
 - 三問目 赤色(『た』抜き)
 - 四問目 てんとうむし
 - 五問目 いも

思い出記事

私は西宮市で、五人兄弟の三番目として生まれ、幼い頃から兄弟と仲良く遊んで過ごしていました。二十代で結婚して京都で過ごし、三十代で西宮へ戻り友達と一緒に、お料理や押し絵を楽しみました。

また、六十代からは、中山桜台に引っ越してきて、地域の老人クラブに入って、たくさんの方と出会い、グラウンドゴルフや海外旅行など、たくさんのお楽しみ活動を楽しみました。

今の歳になって、できる事が少なくなってきましたが、これからも、ちどりさんでいろんな事をしていきたいです。



登別ユニット

川村 孝子様

車椅子体験

平成二十九年十月三十一日(火)に中山五月台小学校へ伺い、四年生を対象にした「車椅子体験授業」のお手伝いをしました。中山ちどりからは二名参加しました。他に社会福祉協議会の担当者の方、『NPO法人すけっと』の方々、児童の保護者の方々も参加されました。

子どもたちは三人一組になり、車椅子に座る人、車椅子を押す人、付き添う人と役割を交代しながら、決められたコースを回りました。段差や坂道では、慣れない車椅子の操作に悪戦苦闘する場面が見受けられました。

また、『すけっと』の方々はお実際の福祉車両を使って、車椅子に座ったまま乗車出来る車両の紹介をされました。福祉車両を初めて見る子供達は興味津々な様子で大騒ぎでした。

私達からは子供たちに「車椅子を押す時は車椅子に座っている人の気持ちを考えて、思いやりの気持ちを大切に押して欲しい」と、お話しました。このような関わりはこれからも大切にしていきたいです。



(宮浦)

委員会・クラブ報告

安全対策委員会

安全対策委員会では、四月～九月までの上半期の事故を各ユニットでデータを集計し、どのような事故が起こりやすいのか、どのような対策が必要なのかを考えて取り組みました。各ユニットの中で事故が起こりやすい時間帯・場所などを知ることができ、今後の事故の対策に繋げることが出来ます。

また、十一月より各フロアにご入居者の爪切りが安全に行えるように、電動爪ヤスリを購入しました。このヤスリは皮膚に当たっても痛みもなく、傷つけない為、使用したスタッフからは爪が分厚く爪切りが難しい方にも安全に使用できると好評です。

(柳)

食事サービス委員会

調理師さんが目の前で料理を振舞うライブキッチンを毎月実施しています。十二月は握り寿司です。にぎり寿司は、嗜好調査でも好きな食べ物ランキングに毎年上位にあがる為、例年よりも、実施回数を増やしました。少しでもご入居者に食事を楽しんでいただければと思います。

そして、十二月二十五日(月)には、クリスマスケーキコンテストを予定しています。今年も各ユニットで、どのようなケーキが出来上がるか楽しみます。

また、食に関する情報誌『食事通信』も発行しております。館内掲示板やホームページなどに掲載していきますので是非、ご覧ください。

(川崎)

映画クラブ

映画クラブでは、現在約三十五名のご入居者が会員になっており、毎回二十名を超えるご入居者にご来場いただいております。

今までにご入居者に反響があった映画は、九月に上映した『クイール』です。盲導犬クイールの一生を描いた作品で、ご覧になられたご入居者より、「可愛くて賢い犬やったな」「最後は感動した」と笑顔で話されていました。中にはスクリーンを見て、涙を浮かべる方もおられました。

十二月はクリスマスにちなんだ映画を上映する予定です。

体験入部も行っていますので、ご興味のある方はぜひユニットのスタッフまでお声掛け下さい。

(田原)

特養
別府・湯布院
ユニット

十一月十一日
(土)に、しつ
らえ作りを行
いました。
少し早目です



が、十二月にちなんでクリスマスツリー
やスノードームをリビングに設置し、カーテンにも飾
りつけを行いました。

みなさま、「この飾り可愛いね」「もう十
二月か・・・一年経つのは早いね」と笑顔で話
されていました。中には、「クリスマスが待
ち遠しいわね」「ケーキも
出るから楽しみやね」とス
タッフと一緒にクリスマス
を心待ちにされている方も
おられました。
(西川)



十一月十八日(土)の昼食に
お好み焼きを作りました。
みなさま、慣れた手つきで、
具材を切ったり生地を混ぜてお
られました。



生地をホットプレートで焼くと「ユニット中
に、芳ばしい香りが広がり、「お腹空いてき
たな」「ええ色に焼き上がったわ」とご入居者同士で
の会話も弾んでいました。

みなさま、出来立てのお好み焼きを一口召し上がる
と、「やっぱり出来立ては美味しいわ」「お変わりが
欲しいわ」と、
とても喜ばれて
いました。
(田原)

ケアハウス
白浜・勝浦
ユニット



♪ユニット便り♪

特養
ショートステイ
山中・和倉
ユニット

十一月二十九日
(水)のおやつの時
間にクッキー作りを
行いました。
クッキーはココア



とプレインの二種類を作りました。

みなさま、卵を割ったり生地の分量を量ったり、型取
りをされたりしながら、「うまく出来る
かしら」「昔作ったことがあるんだけど
ね」と熱心に取り組まれていました。
その後、焼き立てのクッキーを紅茶と
一緒に召し上がりながら、「このクッキー
美味しかったわ」「お店
で出せるな」と、にこや
かに話されていました。
(村上)



十一月一日(水)に小
規模多機能ホームと合
同で車椅子ダンスを行
いました。

毎回、車椅子ダンス
はプロのインストラク



ターにお越しいただいて、「ビューティ
フルサンデー」や「憧れのハワイ航路」
など馴染みのある音楽を流してダンスの指導を受けてい
ます。

今回はクリスマスに向けて、クリスマスソングを流し
ながら練習を行いました。みなさま曲に合わせて、楽し
そうに練習されていました。曲が終わると、「お疲れ様
でした」「ありが
とございました」
と笑顔で話されて
いました。
(大藤)

サポート
ハウス

